



PTC ソフトウェア製品 Vuforia 製品向けライセンス基盤文書

本書の対象範囲

本書は、PTC の Vuforia の各許諾製品に関するライセンス基盤及びライセンス制限を定めている。大半の場合、本書はお客様が PTC から許諾を得たソフトウェアの使用に適用される法定文書の一部を構成する（併せて「ライセンス契約」という）。本書と、お客様によるライセンス購入の根拠となった PTC の見積書／製品スケジュール（以下「見積書／製品スケジュール」という。）との間に不一致がある場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。例えば、本書ではある製品がある特定の方法で使用許諾されるとされている場合であっても、見積書／製品スケジュールに記載された製品名に異なる使用許諾基準が指定されている場合は、見積書／製品スケジュールが優先するものとする。PTC は随時本書を更新することができるが、お客様による各購入には、購入時点で有効な本書の最新バージョンが適用されるものとする。

共通ライセンス基盤の記述

「指定サーバー」(DS)：各指定サーバー製品は、お客様が当該製品の最初のインストールに関連して指定し、該当するインストール済の製品アプリケーションの特有なインスタンスが 1 つあるコンピューターサーバー上でのみ使用できる。コンピューターサーバーにいかなる方法であれ（物理的、論理的又はそれ以外の）パーティションが設定されている場合、前文における「コンピューターサーバー」への言及は当該サーバーの各パーティションを意味するものとし、当該指定サーバー製品は当該パーティションの 1 つにおいてのみ使用することができる。

「登録ユーザー」(RU)：登録ユーザー製品は、ライセンスを使用する頻度に関係なく、一個人のみが使用できる。当該個人がライセンス製品に直接アクセスしているか中間アプリケーションを経由してアクセスしているかに拘わらず、すべての各個人に対してライセンスが必要になる。共有パスワード又はログインアカウントは、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、許可されない。お客様は、新規登録ユーザーをその都度、追加及び／又は交代させることができるが、登録ユーザーの合計数がいかなる時点においてもその特定製品における有効ライセンス数を超えてはならない。さらに、仮に、以前登録していたユーザーが登録ユーザーの状況に戻った場合、以下の特定の製品のライセンス使用許諾基準に異なる指定がされていない限り、PTC のその時点で有効なレートに従い、PTC に新たにライセンス料を支払わなければならない。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできない。

「パッケージ」(P)：PTC 製品パッケージを構成するそれぞれのコンポーネント（構成品）の使用許諾基準は、当該コンポーネントが別々に使用許諾された場合と同じものとする。但し、それぞれのパッケージのコンポーネントがパッケージのベースシート（主要製品）と共に使用される場合を除くものとする。例えば、Creo Enterprise XE Package にバンドルされた Windchill PDMLink と Windchill ProjectLink の登録ユーザーライセンスは、登録ユーザー基準で使用許諾され、1 人の Creo ユーザーとの組み合わせで割り当てられなければならない。



「バンドル」(B)：PTCの各バンドル製品は、いくつかの異なる PTC の許諾製品が含まれ、バンドルに含まれる当該各許諾製品の使用許諾基準が他の許諾製品と異なる場合がある。

複数の製品に共通するライセンス制限

サブスクリプションについて：「サブスクリプション」とは、製品名、見積書／製品スケジュール、注文契約書その他の注文書類、及び／又は請求書において規定された期間にわたり有効となるライセンスが含まれたオンプレミスのライセンスタイプであり、かかるライセンスには、当該ライセンス期間中に追加料金の発生しないサポート・サービスが含まれる。

永久ライセンス：PTCでは、ほとんどの製品に永久ライセンスモデルが存在していない。ただし、PTCが現在も永久ライセンスを販売しており、当該製品にPTCがホスティングにより提供するコンポーネント（Creo AR Design Shareなど）が含まれている場合、PTCはいつでも当該ホスティングコンポーネントの提供を中止することができる。

仮想化技術（Virtualization Technology）について：PTC が上記ライセンス方式を行使するため又は当該ライセンス方式の意図する内容を回避するために採用するライセンス制御機能を、仮想化技術によって回避することが可能な場合であっても、当該回避行為は、お客様のライセンス契約違反となる。

アップグレード：許諾製品の旧バージョンからのアップグレード版の許諾は、PTC により確認されたアップグレードとしての適格な旧バージョンを、最初に許諾されていなければならない。また、お客様は、関連するアップグレード版の購入時に当該許諾製品のサポート・サービスの契約が有効な状態でなければならない。アップグレード版をインストールした後は、アップグレード版として許諾された当該ソフトウェアに交換又は補完され、お客様はアップグレードを適格と認められる基となった旧バージョンを使用することはできない。

相互運用ツール／ツールキット：PTC の相互運用ツール（例えば、Pro/TOOLKIT、J-Link、Pro/Web.Link、アプリケーションプログラミング インターフェース）は、お客様（お客様自身又は第三者の支援により）が、許諾製品をお客様の他のコンピューターシステム及びプログラムとの間で相互運用できるようにする目的にのみ提供される。お客様は、その一部、全部にかかわらず当該相互運用ツールを第三者へ配布してはならない。さらに、当該相互運用ツールを使い、第三者へ配布するための新たな統合プログラムを開発してはならない。

バッチ：ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど）の場合、ライセンスは、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス（直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問わない）をする個人ごとに必要となる。共通又は共用のログインは、認められない。

Vuforia 製品

Vuforia Studio

Vuforia Studio には、Starter、Basic、Premium、及び Professional という異なるバンドルがある。各バンドルには、下表に規定されているバンドル毎の仕様のとおり、Vuforia Studio、Experience Service（指定サーバー基準で使用許諾される）及び Vuforia View Application が含まれる。Vuforia Studio ライセンスでは、お客様は、ユーザー管理及び Experiences を作成するための第三



者製データソースとの統合を目的として ThingWorx Platform にアクセスし使用することができますが（アクセスには ThingWorx Flow は含まれません。）、それ以外の追加的な使用方法には ThingWorx IoT Platform Edition を購入する必要があります。ユーザーは、アプリケーションストア又は PTC のソフトウェアダウンロードサイトから VuforiaView アプリをダウンロードする必要があります。Vuforia View アプリケーションのダウンロード時にユーザーが同意する必要がある追加の条件は適用されず、代わりに本契約及び本オファリングサービス記述書に準拠する。

定義:

「Experience（エクスペリエンス）」（又は「EXP」ともいう）とは、Vuforia View アプリケーションによってユーザーに示される文字、数字及び 3D データを組み合わせたプレゼンテーションをいう。Experience には、拡張現実のインタラクション（相互作用）、2D アセット、3D アセットや ThingWorx を通じたモノからの「ライブ」データが含まれる。View の例には以下のようなものがある。

- サービス技術者に、手順を指示するためのサービスを実演すること
- 消費者に製品性能を示すためのデモを実施すること
- 機械からのライブデータストリーミングを表示すること

「View（ビュー）」は、Experience を開くための単一のインスタンスである。Experience には明確な「エントリーポイント（entry point）」があり、エントリーポイントは Experience を選択するユーザーのアクションによって呼び出される。エントリーポイントは、ThingMark、指定された QR コード又はディープリンクのスキャンに続いて、「ブックマーク（bookmark）」又は「ダウンロードされた（downloaded）」Experience を選択することでも呼び出される。Vuforia View を終了するか、別の Experience を要求しない限り、ビューを終了する明確な Experience の「エグジットポイント（exit point）」はない。

「Public View（パブリックビュー）」とは、非登録ユーザーによって本番環境で消費されたビューをいう。同じユーザーが同じデバイスで同じ 15 分間に消費した View は、1 つの Public View としてカウントされる。例えば、非登録ユーザーがあるデバイスで Experience にアクセスすると、1 つの Public View としてカウントされ、その後 15 分間は、その時間枠内にそのデバイスで同じ Experience に何回アクセスしてもカウントされない。

製品名に「デバイス」（「DV」）と指定されている場合、お客様は、該当する製品名に含まれる数量のデバイスで、手順及び／又はエクスペリエンスを同時に閲覧することができる。「デバイス」とは、手順及び／又はエクスペリエンスを閲覧するためにデバイスへのアクセスを許可された者が使用するタブレット、携帯電話、ヘッドギア、またはコンピュータをいう。各デバイスでは、ユーザー名とパスワードは 1 つだけ使用できる。デバイスのユーザーは、手順又はエクスペリエンスをオーサリングすることはできない。ユーザーは、複数のデバイスにまたがって同じデバイスのライセンスを使用することはできず、デバイスのライセンスは 1 つのデバイスにのみ使用できる。デバイスにアクセスできるユーザー数に制限はない。

バンドル

Vuforia Studio の各バンドルには、以下の表に特定された権利が付与される。

	Starter	Basic	Premium	Professional
登録ユーザー（同梱数を超える場合は別途購入要）	10	20	200	1,000
年間ビュー（非登録ユーザー）	2,500	5,000	10,000	50,000
デバイス数	5	40	N/A	N/A

上表を説明する注記:

登録ユーザー: お客様は、View を加える又は消費するユーザーのために追加の登録ユーザーを購入することができます。登録ユーザーにより消費される View の数には制限がない。登録ユーザーライセンスは、Experience にアクセスする又は Experience を消費する個人に必要であって、当該個人は (i) お客様に雇用された従業員又は委託若しくは請負業者であり、(ii) お客様の Studio インスタンスへのログインアカウント及びパスワードを受け取る者でなければならない。

非登録ユーザー: お客様は、登録ユーザーではない個人が消費するためのパブリックな View を追加購入することができる。

Vuforia Engine & Cloud Recognition Service

各ライセンス製品の使用許諾基準については、下表のとおりである。

製品名	使用許諾基準
Vuforia Engine Premium (1) (2)	Per Company (Company 毎)
Cloud Recognition Service Standalone	なし
Model Targets (3)	MDT
Area Targets (4)	AT

Vuforia Engine 及び Cloud Recognition Service の各ライセンスには、次の表に記載されている機能が含まれる。

	Vuforia Engine Premium	Cloud Recognition Service Standalone
Applications 数 (5)	無制限	
Model Targets	500	なし
Area Targets	500	なし
Cloud Targets	1,000	見積書／製品スケジュールで特定
Cloud Recos	1,000	見積書／製品スケジュールで特定

- (1) Vuforia Engine Premium パッケージには、Cloud Recognition Service のライセンスが含まれる。お客様は、毎月適用される超過料金を後払いする必要がある。
- (2) 「Per Company」は、お客様、及びお客様を直接支配し又はお客様によって支配され若しくはお客様と共通の支配下にある事業体として定義される。この目的のために、「支配」とは、契約その他の該当する法的文書若しくはその他の手段により、法律上、受益的若しくは衡平法上の所有権、パートナーシップ若しくはその他の形態の利害関係を通じて、直接又は間接的に、その事業体の議決権付き株式の 50%以上の所有権又は、経営、ガバナンス若しくはポリシーの指揮権を有していることを意味する。
- (3) Model Targets (MDT)は、3D モデルから作成される Targets である。Model Targets は、見積書／製品スケジュールで指定されたとおりに購入された Vuforia Engine Premium ライセンスでのみ展開することができる。



- (4) Area Targets (AT)は、サポートされている 3D スキャナーを使用して環境の 3D スキャンから作成される Targets である。Area Targets は、見積書／製品スケジュールで指定されたとおりに購入された Vuforia Engine Premium ライセンスでのみ展開することができる。
- (5) Company の許可ユーザーは、Company 又は第三者に代わってアプリケーションを開発するために Vuforia Engine 許諾製品を使用することができる。Company は、Vuforia Engine ライセンス又はライセンスキーを第三者に譲渡することは許可されないが、当該第三者にアプリケーションの所有権を譲渡することができる。